

生命領域学際研究（TARA）センターA棟改修及びC棟竣工披露式

9月5日に、生命領域学際研究センターにおいて、生命領域学際研究センターA棟改修及びC棟竣工披露式が開催されました。

A棟の改修及びC棟の新築は、昨年度着工され、本年6月に完成したものです。式典には、現TARAセンターの前身である先端領域学際研究センター設立時の江崎玲於奈元学長やTARAセンターの歴代センター長（村上和雄氏、古川尚道氏、後藤勝年氏、瀧田宏樹氏の各本学名誉教授）、本学関係者など約50名にご臨席いただきました。式典では、浅島誠センター長の挨拶、赤平昌文研究担当副学長の式辞、江崎元学長の来賓祝辞を賜り、さらに深水昭吉副センター長から、TARAセンターのこれまでの研究実績等の説明がありました。

式典終了後には、施設見学、懇談会が行われました。懇談会においては、清水一彦 総務・人事副学長や村上 TARA 元センター長等歴代のセンター長にも、更なる TARA センター発展への期待と激励のご挨拶をいただき、和やかな雰囲気の下、終了いたしました。

今回竣工したA棟改修部分（約730平米）には実験室（2室）と共通機器室及び研究室が、C棟（約740平米）には実験室と研究室（1・2階）及び交流スペースがあります。A棟の共通機器室は「生命科学最先端分析オープンイノベーション拠点」として生命科学の「探索」・「解析」・「評価」の3つの段階に対する設備（次世代シーケンサーなど）が設置され、学内外の産独学の研究者が研究の各ステージに応じて利用可能な共通機器施設として整備され、また、C棟は今後企業との共同研究を進める際の拠点となる施設として利用されます。



披露式で挨拶する浅島誠 TARA センター長



披露式で挨拶する江崎玲於奈元学長



出席者の記念撮影（C棟交流スペースにて）